

これまでの検討会振り返り

令和元年6月11日

中国地方整備局 岡山河川事務所

1.高梁川水害タイムライン策定の流れ

「高梁川水害タイムライン《令和元年度版》」のとりまとめに向けて、第1回検討会では各機関の行動項目を整理し、第2回検討会では参加機関で連携する行動項目についての意見交換を行いました。

平成30年
12月27日

高梁川水系減災対策協議会 防災行動計画検討部会の設置

平成31年
1月30日

高梁川水害タイムライン勉強会
“高梁川の水害特性の把握、タイムラインの説明、今後の進め方”

連携するライフライン機関・交通機関・報道機関の抽出(各市町)

平成31年
3月11日

高梁川水害タイムライン検討会（発足式・第1回）
“座長選任”、“グループワーキング”（各機関の重点行動項目の整理）

■事前準備（事務局） 「タイムライン（素案）」の作成

令和元年
5月10日

高梁川水害タイムライン検討会（第2回）
“グループワーキング”（「タイムライン（素案）」を用いて、機関ごとに役割分担や調整事項を確認）、
“全体ワーキング”（全体で役割分担や調整事項を合意形成）

令和元年
6月11日

高梁川水害タイムライン検討会（第3回）
「高梁川水害タイムライン《令和元年度版》」のとりまとめ

令和元年
6月13日

高梁川水害タイムライン完成式
「高梁川水害タイムライン《令和元年度版》」の策定

「高梁川水害タイムライン《令和元年度版》」の運用

令和元年
11月頃

高梁川水害タイムライン検討会（第4回）
“グループワーキング”（出水対応の振り返り、改善）

令和2年
2月頃

高梁川水害タイムライン検討会（第5回）
“全体ワーキング”

以降、振り返り、改善、運用を継続的に実施する。

3.第2回検討会の概要

「高梁川水害タイムライン《令和元年度版》」のとりまとめに向けて、**第2回検討会**では参加機関ごとの役割分担や調整事項の確認、**合意形成**を行いました。

- 情報発信・伝達に関して特に重点とされる課題や調整事項について全機関で意見交換し、関係機関との**合意形成**が図れた。
- 情報を上手く共有し、活用することが重要であり、情報の一元化やプッシュ型の必要性が問われた。

◆ タイムライン（素案）の確認

情報収集	【行動項目の整理】		重点行動項目から見る 高梁川水害タイムライン（素案）の特徴																										
	赤文字	青文字	
災害・台風情報の収集【継続】	1	①	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
緊急避難・注意喚起情報の収集【継続】	2	①	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎

【重点行動項目の整理】

- 黄色ハッチ：情報伝達に係る重点行動項目
- ピンク色ハッチ：住民避難に係る重点行動項目
- 青色ハッチ：浸水対策に係る重点行動項目

【主体・支援の確認】

- ◎：行動の主体、情報収集／伝達の主体機関
- ：行動の支援、情報収集／伝達の支援機関（情報の収集先／伝達先）

重点行動項目から見る 高梁川水害タイムライン（素案）の特徴

- 情報収集・伝達に関する項目が多く**重要行動項目**として選定されている

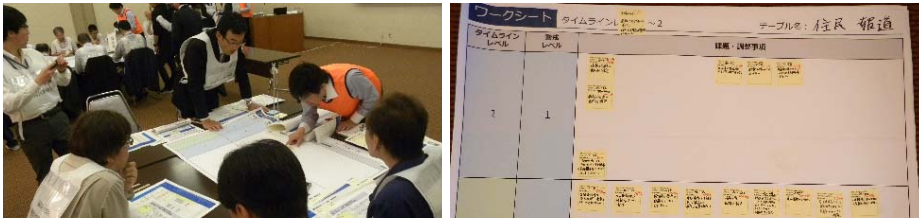
⇒ 逃げ遅れゼロ、経済被害最小化に向けた対応を実施するため、**迅速な情報収集、確実な情報伝達が必要**

各機関が必要とする情報の多様性

報道機関から住民への一元的な情報発信

1 グループワーク

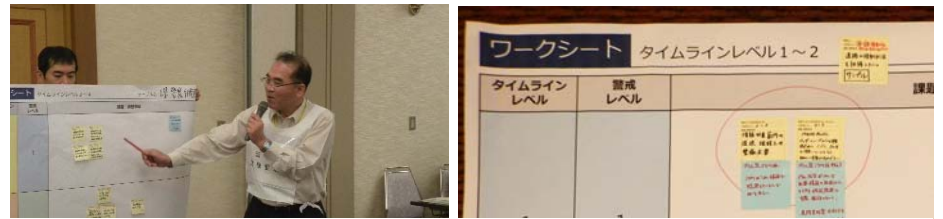
- ① 各機関・部署で選定した**重点行動項目**のうち、**情報発信・伝達に係る重点行動項目**を確認
- ② **重点行動項目**の課題・調整事項を抽出し、グループで整理



レベルごとに情報発信・伝達に係る課題や調整事項を整理

2 全体ワーク

- ① グループごとに課題解決シートの内容を発表
- ② 各グループが最も解決すべき重点課題・取組事項について、関係する他機関への投げかけや全体での意見交換により解決策を検討



全体で意見交換で得られた回答や気づきをワークシートに記録

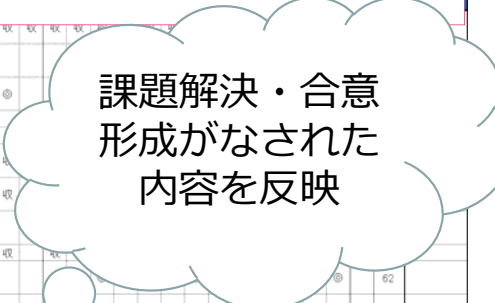
4.高梁川水害タイムライン(令和元年度版)について

- 高梁川水害タイムライン（素案）について各機関に意見照会をかけ、修正依頼のあったものを反映
- わかりにくい凡例表現を修正（情報の受信・発信、収集について）
- 第2回検討会での全体意見交換で課題解決・合意形成がなされた内容を反映

■ **赤字**：各機関からの修正事項を反映
 ■ **青地**：凡例の見直しに伴い修正

<情報の受信・発信、収集について>

- 発**：情報を発信する機関
- 受**：情報を受け、さらに伝達する機関
もしくは情報を受ける機関
- 収**：情報を収集する機関



No.	項目名	岡山県内自治体																								関係機関			
		第1階層								第2階層								第3階層											
		岡山市	倉敷市	浅口市	美作市	真庭市	玉野市	高梁市	新見市	児島市	岡山県	倉敷市	浅口市	美作市	真庭市	玉野市	高梁市	新見市	児島市	岡山県	倉敷市	浅口市	美作市	真庭市	玉野市		高梁市	新見市	児島市
53	気象警報・注意報情報の収集【継続】	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
54	大雨注意報の確認																												
55	台風説明会の実施																												
56	説明会による情報収集	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
57	災害備品の購入	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
58	土のうの準備	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
59	県庁台風説明会の実施																												
60	県庁台風説明会の参加	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
61	国観測所の雨量・河川水位の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
62	雨量・河川水位情報の収集【継続】																												
63	国観測所の雨量・河川水位の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
64	上流域の雨量・河川水位の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
65	海面水位情報の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
66	本部からの地域情報の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
67	イベント実施情報の確認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
68	今後の見込みの検討【継続】																												
69	台風の種類分析																												
70	取材の準備																												
71	取材の実施																												

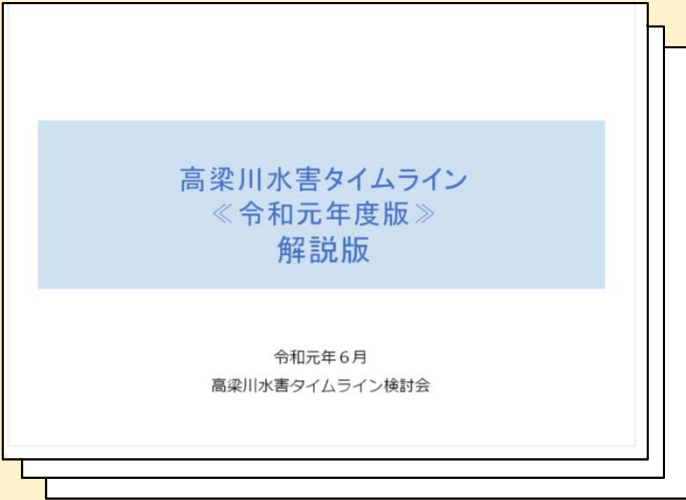
■ 第2回検討会ワーク（全体意見交換）の反映

TLレベル	グループ名	機関名	行動項目 No.	課題・調整事項(黄色付箋)	課題の整理	回答(青付箋)			
1	自治体	総社市 危機管理室	1	前線停滞による情報収集(気象台) ・通常注意報発令から	台風及び前線性降雨に係る予測情報の入手に関する課題	台風であれば5日先までの情報をホームページで公表している前線性については予測が難しいので48時間先までが限界。説明会としては進路精度はよくなっている。			
		井原市 危機管理課	1	・台風の進路、規模の確認(気象台) ・再接近の可能性の確認(気象台)					
		倉敷市 防災危機管理室	2	警報級の可能性及び、その時間帯一どのタイミングで発信されるのか(気象台)					
		井原市 危機管理課	2	梅雨前線の動きを確認(気象台)					
		井原市 危機管理課	9	土のう、資材の調達先を確認(建設業協会、ホームセンター協定先)					
		早島町 福祉	37	避難所(学校等)への連絡					
		早島町 福祉	38、39	教育委員会部局への連絡					
		早島町 福祉	41、42	社協等々の情報確認					
		交通機関	西日本旅客鉄道(株)岡山支社	1			ウェザーニュースからの情報提供あり、ただし、ダム等の情報についてはなし。細かい情報があればよい。	ダム情報に関する課題	県土木課：ダムの情報は岡山防災ポータルでダムの放流状況を発信している岡山県河川課(ダム)：水位についても岡山防災ポータルでリアルタイムで災害情報を提供している。さらなる情報提供は今後検討していく。危機管理型水位計も設置しているので、国交省のシステムでみてほしい(河川の水位)
			日本放送協会 岡山放送局	25~32			情報の公開と取材の設定	情報公開に関する課題	-

4.高梁川水害タイムライン(令和元年度版)について

▶ 高梁川水害タイムラインは、以下の4つから構成（機関内共有資料）

①高梁川水害タイムライン【解説版】



タイムラインの想定シナリオや作成方針が記載されています。タイムラインの前提条件を確認するときに活用します。

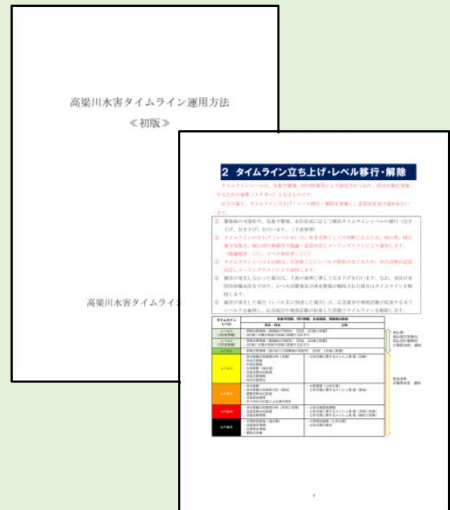
②高梁川水害タイムライン【概要版】

タイムライン【詳細版】の対応項目（第1階層）を抜粋して防災行動の種類毎に整理されています。対応の全体像を確認するときに活用します。

③高梁川水害タイムライン【詳細版】

行動手順・内容（第3階層）までの詳細な対応が各機関・部署毎に時系列に整理されています。水害時は対応のチェックリストとして活用します。

④高梁川水害タイムライン運用方法



台風や前線性の降雨に対するタイムラインの立上げ・移行基準や、メーリングリストを利用した情報発信等が記載されています。タイムラインを運用する際に確認・活用します。